

新型コロナウイルス感染防止に向けて

～新型コロナウイルスにかからない～
～新型コロナウイルスをうつさない～

《日時》2020年12月4日（金）～8日（火）
2020年12月17日（木）～18日（金）
《会場》Googlemeet（オンライン）

文教大学越谷校舎 学生委員会

はじめに（他大学の感染事例）

【他大学でのコロナ感染・クラスター発生事例】

●都内の大学※大学名無公表（10月9日）：運動部に所属する部員23人が感染。バスでの異動などで感染が拡大し、クラスターが発生したとみられる。当部では8日以降、男子部員3人の感染が相次いで確認され、その後新たに部内で20人の感染が判明。

●早稲田大学（10月24日）：アイスホッケー部で部員6人が感染。感染した6人はいずれも同じ寮に住んでいて感染したものみられている。

●法政大学（10月24日）：サッカー部で部員・スタッフ合わせて20人が感染。合宿所から感染が拡大したとみられている。

●龍谷大学（11月10日）：硬式野球部で新型コロナウイルスのクラスターが発生したことを受け、全てのキャンパスを立ち入り禁止とした。龍谷大学では9日までに滋賀・大津市にある瀬田キャンパスで活動する硬式野球部の部員18人の感染が確認された。部員らは大津市内にある寮で生活していて、大学は寮で生活する部員約70人を外出禁止にした上で、瀬田キャンパスを含む3つのキャンパスを10日から15日まで原則、立ち入り禁止にしている。対面での授業は休講にし、オンラインでの授業のみにするという。

●立命館大学（11月10日）：滋賀県草津市にあるびわこ・くさつキャンパスにて、飲み会に同席した学生など12人の感染が確認された。大学は10日まで対面での授業を一部休講にし、オンラインに切り替えるなど対応を行っている。

●大阪府立大学（11月11日）：11月9日から10日にかけて同じサークルに所属する学生7人の感染が新たに確認された。また、同月3日～4日にかけて、このサークルに所属する24人の学生が一緒に旅行していたことが発覚。大学は11日～15日まで、感染した学生が通っていた中百舌鳥キャンパスで学生の構内への立ち入りを禁止にした。

●札幌大学（11月11日）：11月9日、学生ら25人が、新型コロナウイルスに感染したと明らかにした。同大は同月15日まで対面授業を休講、学生や学外者の大学立ち入りを禁止し、16～21日は全授業を遠隔で行うことにした。大森義行学長名で大学のホームページに載せた発表によると、感染したのは学外で行われた懇親会に参加した学生らで、軽症または無症状だったとしている。

本説明会の目的

【到達目標】

- ・新型コロナウイルス感染症がどのように感染拡大していくのか、その性質を理解する
- ・新型コロナウイルス感染症を大学内や課外活動で広めないために、必要な対策を学習する
- ・「どのような工夫をすれば感染リスクを軽減して安全な活動ができるか」について学習する

説明会の流れ

【学習①】

ウイルスはどこにいるのか

【学習②】

ウイルスはどのようにして身体に入るのか

【学習③】

ウイルス感染を防ぐための行動

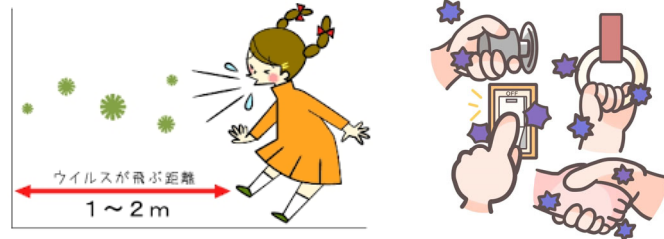
【学習④】

感染者・クラスターを発生させないために

【学習①】 ウイルスはどこにいるのか

感染した人の体内（鼻・口・喉・肺）に潜伏する
飛沫により放出される

- ⇒会話（1m弱）
- ⇒咳（2～3m程度）
- ⇒くしゃみ（5m程度）



①飛散した飛沫（ウイルス）は飛散範囲にあるあらゆる所に付着する。

⇒手・机・椅子・PC・文具・床・食器 等

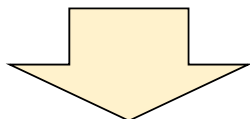
②付着したものを触った手を介して、あらゆる所に付着する。

⇒ドアノブ・手すり・スイッチ・水道レバー・トイレ・お金・つり革・
カード・スマホ 等

【学習①】 ウイルスはどこにいるのか

ウイルスはどれくらい生きているのか？

- ・数時間は確実に感染力がある
- ・乾燥すると感染力がなくなるが、粘液や蛋白質の中で感染力を持つ
- ・4日間程度は感染力維持（鉄、アルミ、紙、繊維に付着したもの）



ウイルス感染防止に有効かつ簡便な対策は？

- ⇒消毒用アルコール（77-82%）
- ⇒石鹼を用いた20秒以上の手洗い
- ⇒次亜塩素酸ナトリウム（市販の漂白剤を薄めた（0.05%）もの）

【要注意】引火・塩素ガスの発生、目に入った場合の失明の危険性があるため、次亜塩素酸ナトリウムの取り扱いは十分注意すること。

【学習②】 ウイルスはどのようにして身体に入るのか

【ウイルスの主な感染経路】

◆接触感染

経路：自分の手についたウイルスが粘膜に接触する
(例) ウイルスのついた手で食事をする／顔を触る 等

◆飛沫感染 (エアロゾル感染)

経路：ウイルスを吸い込む、粘膜に付着する
(例) ウイルスの入った飛沫が目、鼻、口に入る

エアロゾル感染とは？

くしゃみや会話等で口から飛び出した飛沫のうち、遠くまで飛散する小さな飛沫 (マイクロ飛沫感染)

⇒換気の悪い部屋だと数十メートル漂い感染する可能性がある

【学習③】 ウイルス感染を防ぐための行動

【ウイルスを撒き散らさないために】

◎手による接触経路を遮断すること

ものに触る前に手を洗う／鼻、口を触らない／鼻、口を触ったら手を洗う

【ウイルスを身体に入れないようにするために】

◎物に触れる前に手指を消毒する

・石鹸手洗い、アルコール消毒

◎触れる物を消毒

・アルコールまたは次亜塩素酸

◎消毒していない手で顔を触らない

正しい手の洗い方



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

【学習③】 ウイルス感染を防ぐための行動



【学習③】 ウイルス感染を防ぐための行動

【具体的な行動（団体活動時においても重要）】

（1）飛沫感染防止対策をすること

マスクを必ず着用すること／密接した状態での会話・発生を控えること
食事時の会話を控えること／施設利用後の手洗い、消毒の徹底
活動参加者全員の手洗い、消毒／口・鼻・目に不用意に触れないこと

（2）接触感染防止対策をすること（清潔な環境の維持）

- ・触る物、触った物、場所（用具、床等）のアルコール消毒
- ・鞆や上着を不用意に置かないこと
- ・タオルの共用を避けること

（3）「3密（密閉・密集・密接）」回避の対策を講じること

- ・ソーシャルディスタンスの確保（最低でも1m以上の距離）
- ・密閉空間を防ぐ（1時間に2回以上、数分間の換気）
- ・近距離で接する活動を控える

【活動前後の消毒作業】
例えば・・・

教室の活動

机、椅子、ドアノブ、
筆記用具、床 等

体育施設の活動

練習道具、手すり、
椅子、ドアノブ、
整備用具、床 等

【感染防止策が十分でない（危険とされる）行動・環境の例】

⇒行動：会食／コンパ／カラオケ／近距離で接する活動 ⇒ **《禁止》**

⇒環境：更衣室／防音室／窓の無い空間 等

【学習④】感染者・クラスターを発生させないために

【感染者発生・クラスター発生に伴い想定され得る影響】

- 友人：濃厚接触者と特定された人物の自宅待機・授業出席停止
- 授業：対面実施中の授業の一部休講あるいは全面休講
修得単位数の不足⇒学生の卒業要件に影響をきたすこともあり得る
- 教育実習：受入先の学校からの断り（実習の中止）
- 課外活動：他団体も含めた活動停止措置

【改めて意識徹底していただきたいこと】

- ・大学内のみならず、普段の生活（自宅、アルバイト先、外出先等）においても感染防止の行動を徹底すること
- ・ウイルス感染防止に関する知識習得及び感染症対策の重要性について、課外活動団体の組織員全員で共有すること

大切なこと

- ・自分が感染することを防ぐ
- ・他人に感染させることを防ぐ

参考資料

- ・「MISSION 大学・サークルでクラスターを発生させない」
信州大学総合健康安全センター/信州大学医学部附属病院感染制御室
- ・「手洗いについて」
厚生労働省発出：啓発資料
- ・TBS NEWS「早大・法政大、部活でクラスター」
https://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye4110250.html
- ・日本経済新聞「東京の大学でクラスター 23人感染、足立の病院でも」
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO64854590Z01C20A0CC1000/>
- ・龍谷大学ホームページ
<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-6002.html>
- ・TBS NEWS「学生7人感染の大阪府立大、キャンパス立ち入り禁止に」
https://news.tbs.co.jp/newseye/tbs_newseye4124275.html
- ・読売新聞「札幌大で25人感染…学外での懇親会に参加、学生ら学内立ち入り禁止に」
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20201111-OYTIT50085/>